

京都丹波高原国定公園

公園区域及び公園計画の変更
(一部変更)

ご説明の流れ

1. 京都丹波高原国定公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

ご説明の流れ

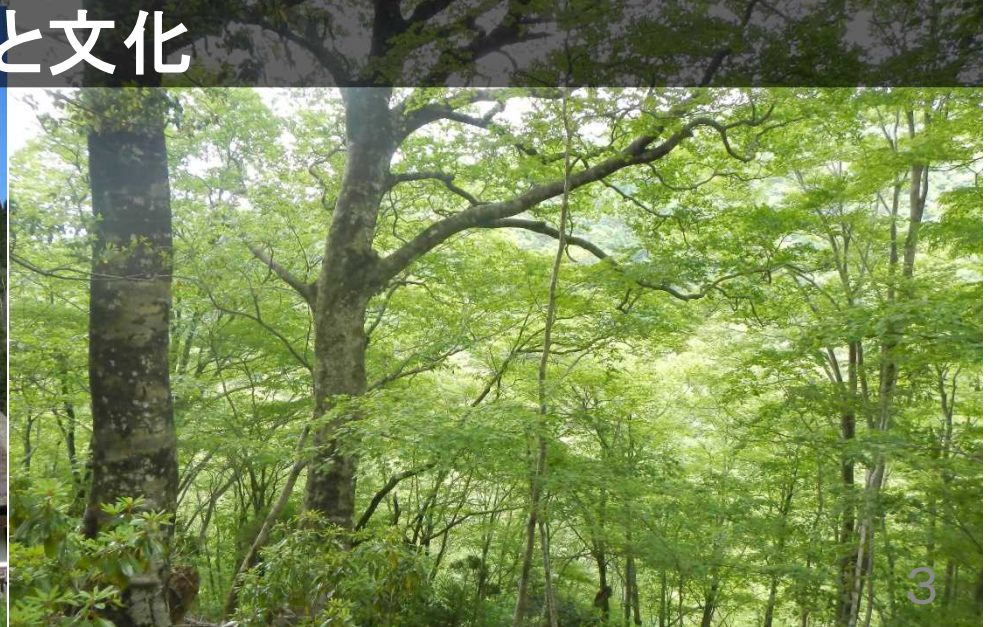
1. 京都丹波高原国定公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

京都丹波高原国定公園の概要



森の京都～森・川・里に守り継ぐ

自然と文化



京都丹波高原国定公園の概要

丹波高原のスギやブナなどの原生的な自然林と自然度の高い二次林から形成される森林生態系、希少かつ多様な魚類をはぐくむ河川生態系等の多様な生態系と、これらと一体となった文化的景観



芦生研究林



かやぶきの里



八丁平湿原

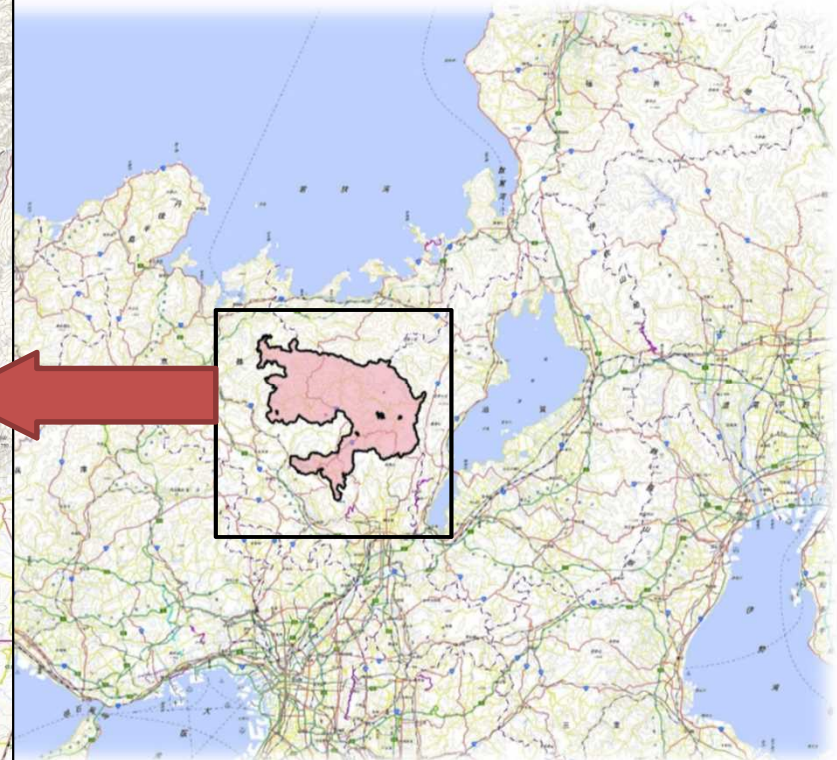
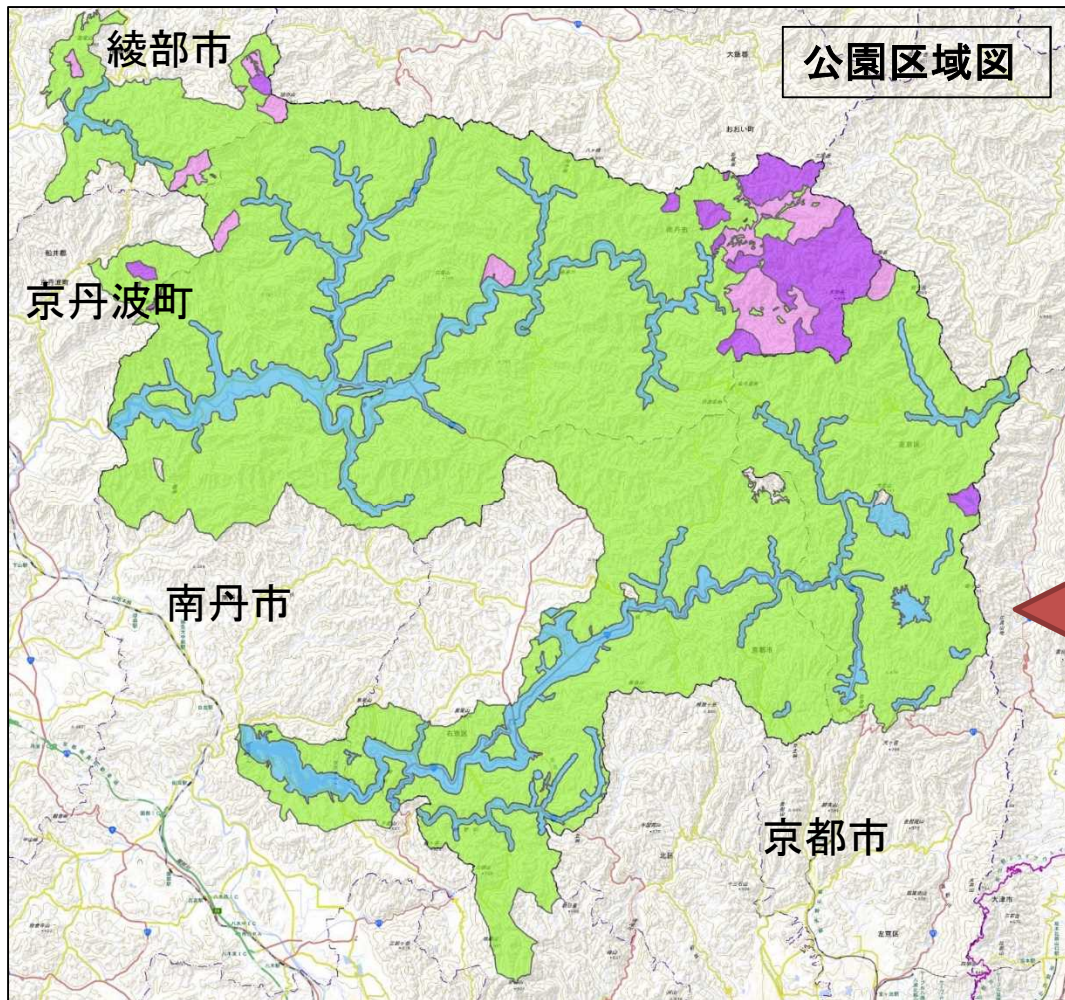


由良川

京都丹波高原国定公園の概要

指定 平成28年3月25日
面積 68,851ha

- ・平成28年 京都丹波高原国定公園の指定
- ・令和2年 一部変更(今回)



ご説明の流れ

1. 京都丹波高原国定公園について
- 2. 今回変更(一部変更)について**
3. パブリックコメントの対応について

今回変更のポイント

公園区域及び保護規制計画の変更

生態系の連続性や希少種の生息状況をふまえ、国定公園指定後に一体的に保全・利用する必要があることが明らかになった箇所について、公園区域の拡張及び保護規制計画の変更を行うもの。

公園区域に囲まれる地域を公園に編入し、連続性を高め一体的な保全・利用を促進

- 公園区域の拡張(+307ha)
- 第3種特別地域(+141ha)
- 普通地域(+166ha)

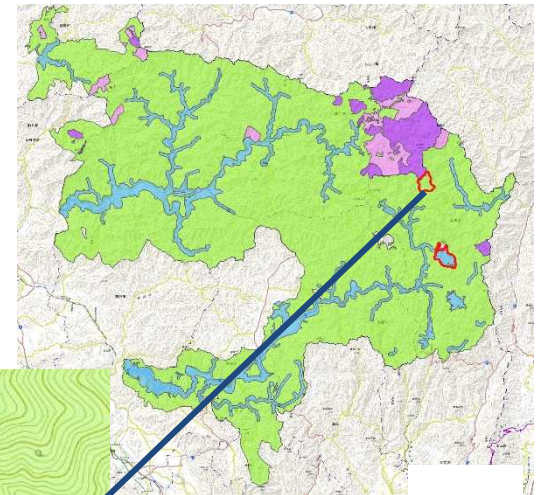


公園区域及び保護規制計画の変更

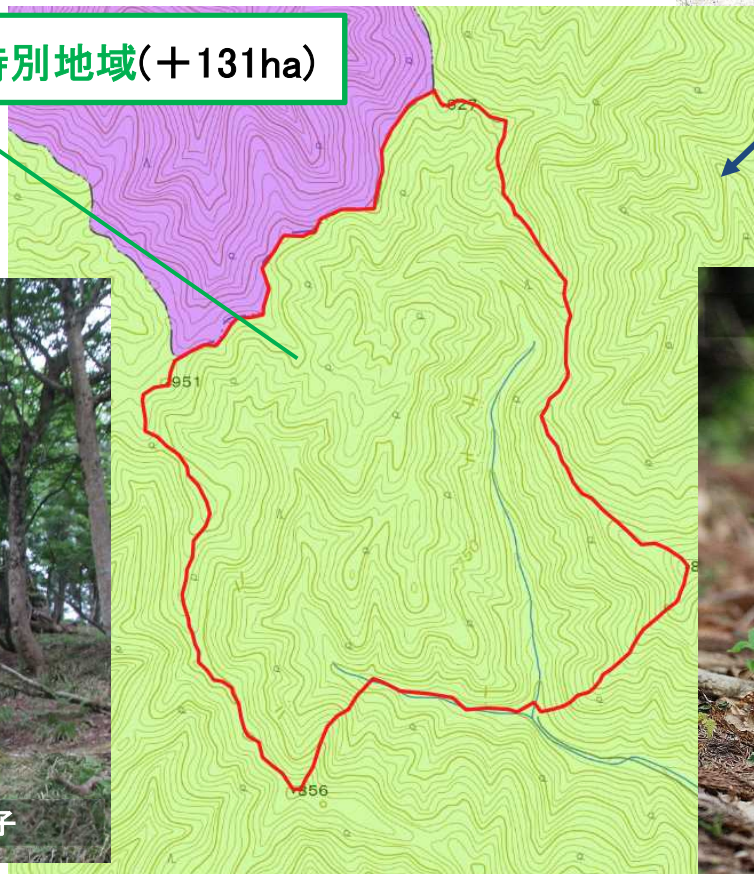
●能見谷国有林の拡張(131 ha)

既存特別地域に隣接する能見谷国有林を国定公園に編入。
スギ・ヒバ・落葉広葉樹の二次林がみられ、ミズナラ群落や伏
条台スギ（アシウスギが伏条更新したもの）の巨木が点在
サルメンエビネ（VU）等の多種多様な動植物が生育・生息し、
特徴的な風致を形成

公園区域外 ⇒ 第3種特別地域(+131ha)



拡張箇所の様子



サルメンエビネ

- ・人工林のほか、落葉広葉樹二次林や、自然性の高いミズナラ群落が見られる。
- ・伏条台スギの巨木も点在。



公園区域及び保護規制計画の変更

●大悲山の拡張(176ha)

公園区域外 ⇒ 普通地域(+166ha)

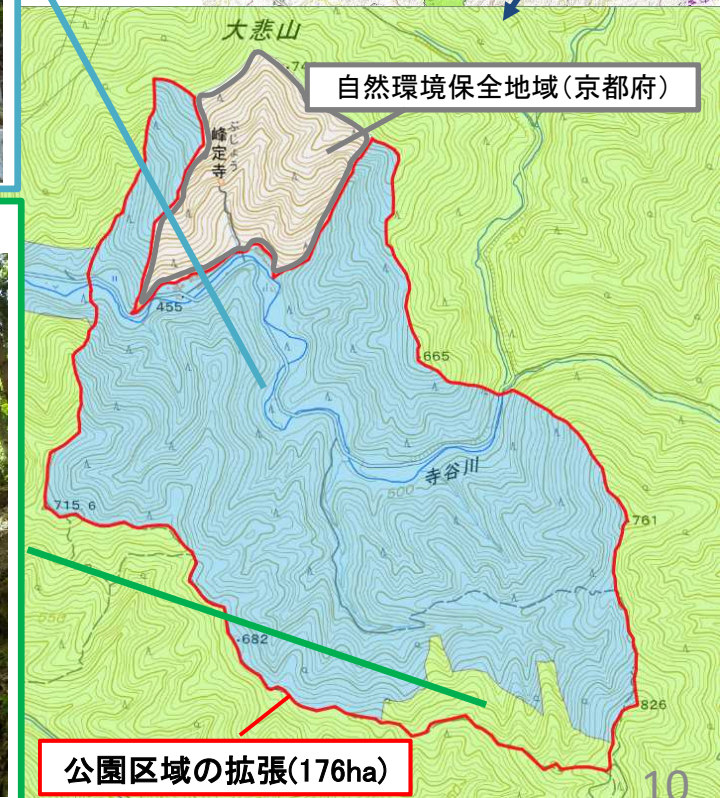
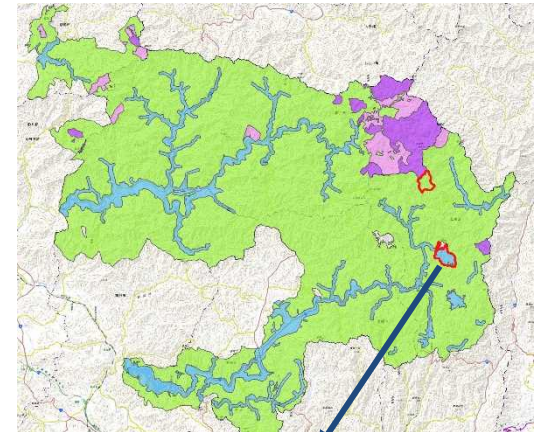
スギ、ヒノキ等の人工林を主とする地域。
日本一の高さを誇る「花脊の三本杉」がみられる



当該地の様子

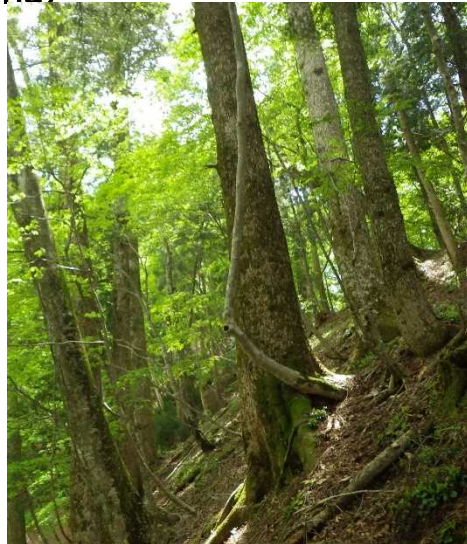


花背の三本杉

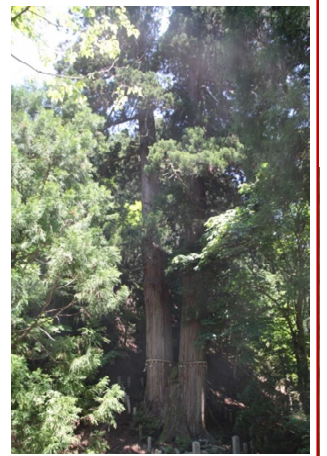


公園区域外 ⇒ 第3種特別地域(+10ha)

天然のモミ、スギ、ヒノキ等の大木が見られる大悲山モミ希少個体群保護林。
サルメンエビネ(VU)をはじめとする多種多様な動植物が生息・生育し、特徴的な風致が形成



公園区域の拡張(176ha)



大悲山モミ希少個体群保護林



ご説明の流れ

1. 京都丹波高原国定公園について
2. 今回変更(一部変更)について
3. **パブリックコメントの対応について**

パブリックコメントの実施結果

■概要

・実施期間 令和元年 7月26日(金)から8月25日(日)

・意見募集の結果 【意見提出数】

電子メールによるもの

計1通

今回の変更案にかかるもの

計0件